

2022年度 全社対策本部  
防災訓練（総合訓練）実施計画書  
（案）

日本原燃株式会社  
安全・品質本部

## 2022年度 全社対策本部 防災訓練実施計画書（第1部）

### 1. 訓練目的

本訓練は、「濃縮・埋設事業所 濃縮事業部 原子力事業者防災業務計画 第2章第5節2」および「濃縮・埋設事業所 埋設事業部 原子力事業者防災業務計画 第2章第5節2」に基づき、原子力災害に対する緊急時対応能力の習熟・向上を図ることを目的とする。

また、本訓練は、「全社対策本部 原子力防災訓練中期計画」に基づき、加工施設および廃棄物埋設施設の事業所内同時発災および現実的なシナリオ想定のもとで、ERCプラント班との情報共有および事業部対策本部と全社対策本部との連携について確認する。

具体的な達成目標、検証項目は以下の通り。

#### (1) 「ERCプラント班との情報共有ができること」

達成目標：ERCプラント班に対して、情報共有ツール等を活用して、タイムリーにかつ確実に情報共有ができること

検証項目：①全社対策本部事務局は、あらかじめ定めたERC対応に係る情報フローどおり対応できること

②ERC対応者は、各事業部のCOP等を活用して、事故・プラント状況・進展予測と事故収束対応戦略、戦略の進捗状況について、情報の優先度に応じてERCプラント班と情報共有できること

③2021年度総合訓練において抽出した課題に対する改善策が有効に機能していること

#### (2) 「事業部対策本部と連携して活動ができること」

達成目標：事業部対策本部からの情報を基に、全社対策本部は事業部対策本部の支援ができること

検証項目：①各機能班は、事業部対策本部との連携により必要な支援活動（社外への情報発信、負傷者対応等）ができること

②各機能班は、事業部対策本部と社内情報共有ツールにより情報共有できること。

### 2. 実施日時および対象施設

#### (1) 実施日時

2022年11月8日（火） 9：30～12：00（予定）（反省会含む）

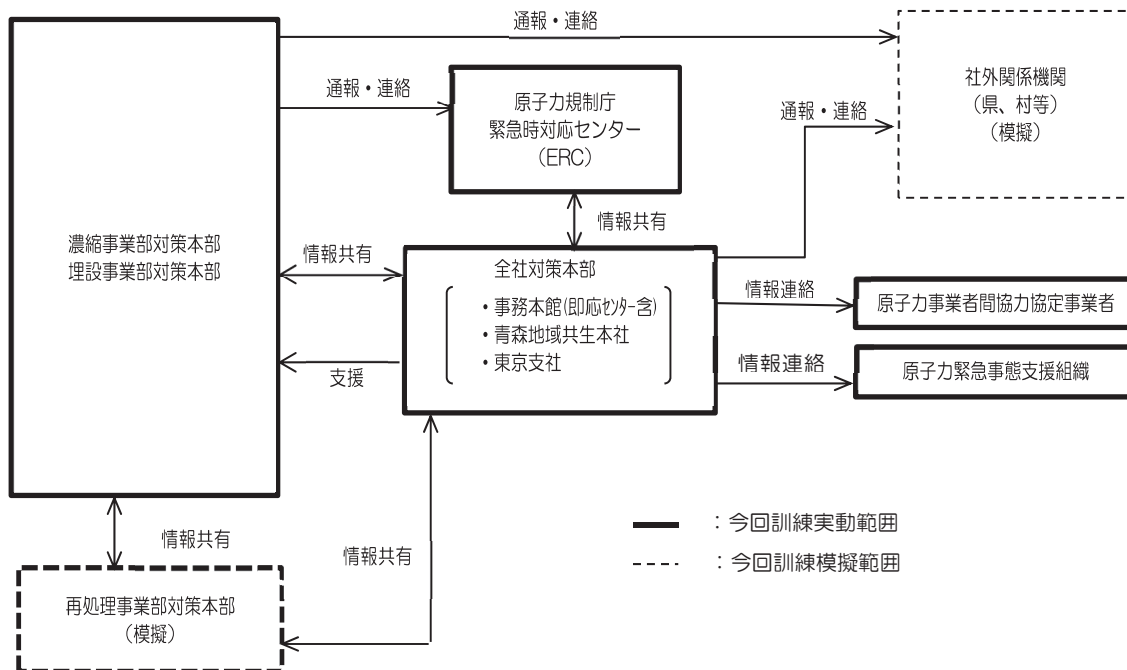
#### (2) 対象施設

a. 加工施設

b. 廃棄物埋設施設

### 3. 実施体制、評価体制および訓練対象者

#### (1) 実施体制



#### (2) 評価体制

各活動場所に評価者を配置し、評価者による評価および訓練終了後に訓練参加者による訓練反省会等を通じて、改善事項の抽出を行う。

#### (3) 訓練対象者

全社対策本部要員

### 4. 防災訓練の項目

#### (1) その他必要と認める訓練

- a. 全社対策本部運営訓練
- b. E R C 対応訓練

### 5. 防災訓練のために想定した原子力災害の概要

訓練シナリオ情報を含むため非公開

訓練シナリオ情報を含むため非公開

## 6. 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策のため、以下の対応を実施する。

- ・ 訓練参加者(現場対応者含む)は、原則マスク着用とする。(ただし、防護具類着用時は除く。)
- ・ 全社対策本部室内で活動する要員は可能な限り人数を制限して対応する。
- ・ 全社対策本部室内は換気を実施するとともに、座席には可能な範囲で仕切りを設置する。

## 7. 添付資料

1 - (1) : 全社対策本部 防災訓練 第1部シナリオフローおよび検証ポイント

以 上

## 2022年度 全社対策本部 防災訓練実施計画書（第2部）

### 1. 訓練目的

本訓練は、「濃縮・埋設事業所 濃縮事業部 原子力事業者防災業務計画 第2章第5節2」および「濃縮・埋設事業所 埋設事業部 原子力事業者防災業務計画 第2章第5節2」に基づき、原子力災害に対する緊急時対応能力の習熟・向上を図ることを目的とする。

また、本訓練は、「全社対策本部 原子力防災訓練中期計画」に基づき、濃縮・埋設事業所内での加工施設および廃棄物埋設施設の原子力災害同時発生時における情報発信能力を確認する。

具体的な達成目標、検証項目は以下の通り。

#### (1) 「ERCプラント班と情報共有ができること」

達成目標：ERCプラント班に対して、情報共有ツール等を活用して、タイムリーにかつ確実に情報共有ができること

検証項目：全社対策本部事務局は、各事業部のCOP等を活用して、情報の優先度に応じてERCプラント班と情報共有できること

#### (2) 「10条確認会議および15条認定会議に適切に対応できること」

達成目標：10条確認会議および15条認定会議において適切に対応できること。

検証項目：10条確認会議等対応者は、10条確認会議および15条認定会議において、EAL判断根拠、発生事象・進展予測・事故収束対応の説明を簡潔に説明にできること

### 2. 実施日時および対象施設

#### (1) 実施日時

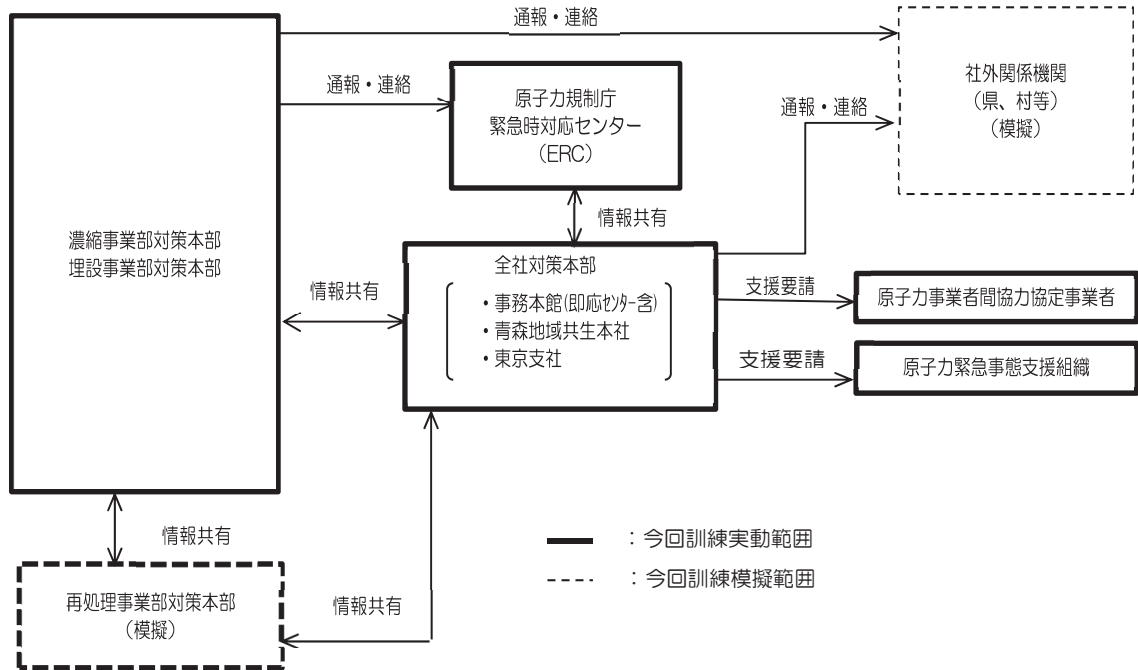
2022年11月8日（火） 13:30～15:00（反省会含む。）

#### (2) 対象施設

- a. 加工施設
- b. 廃棄物埋設施設

### 3. 実施体制、評価体制および訓練対象者

#### (1) 実施体制



#### (2) 評価体制

各活動場所に評価者を配置し、評価者による評価および訓練終了後に訓練参加者による訓練反省会等を通じて、改善事項の抽出を行う。

#### (3) 訓練対象者

全社対策本部 本部長、事務局、広報班（自治体連絡要員）、総務班（労働基準監督署連絡要員）

### 4. 防災訓練の項目

#### (1) その他必要と認める訓練

- a. 全社対策本部運営訓練
- b. E R C 対応訓練

### 5. 防災訓練のために想定した原子力災害の概要

訓練シナリオ情報を含むため非公開

訓練シナリオ情報を含むため非公開

## 6. 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策のため、以下の対応を実施する。

- ・ 訓練参加者(現場対応者含む)は、原則マスク着用とする。(ただし、防護具類着用時は除く。)
- ・ 全社対策本部室内で活動する要員は可能な限り人数を制限して対応する。
- ・ 全社対策本部室内は換気を実施するとともに、座席には可能な範囲で仕切りを設置する。

## 7. 添付資料

2 - (1) : 全社対策本部 防災訓練シナリオフローおよび検証ポイント

全社対策本部 防災訓練シナリオフローおよび検証ポイント

【第1部訓練】

目安時間	事業部対策本部		全社対策本部						その他 付与情報
	運輸事業部	埋設事業部	対応センター (ERC対応ブース)	全社対策本部室	リエゾン	東京支社	青森共生本社	オフサイトセンター	
9:30	訓練シナリオ情報を含むため非公開								
9:40									
9:50									
10:00									
10:10									
10:20									
10:30									
10:40									
10:50									
11:00									
11:10									
11:20									
11:30									
11:40									
11:50									
12:00									

【検証ポイント①】  
全社対策本部事務局は、あらかじめ定めたERC対応に  
係る情報フローどおり対応できているか

【検証ポイント②】  
ERC対応者は、各事業部のOOP等を活用して、事故・プラント状況・進展予測と事故取  
除対応戦略、戦略の進捗状況について、情報の優先度に応じてERCプラント室と情報共有  
できること

【検証ポイント③】  
2021年度総合訓練において抽出した課題に対する改善策が有効に  
機能しているか。

【検証ポイント④】  
各機能室は、事業部対策本部との連携により必要な支援活動(社  
外への情報発信、負傷者対応等)ができているか。

【検証ポイント⑤】  
各機能室は、事業部対策本部と社内情報共有ツールにより情報共  
有できているか。



【第2部訓練】 全社対策本部 防災訓練シナリオフローおよび検証ポイント

目安時間	事業部対策本部		即応センター (H1)	全社対策本部					その他 付与情報
	濃縮事業部	埋設事業部		全社対策本部室	リエゾン	東京支社	青森共生本社	オフサイトセンター	
13:30	<p>訓練シナリオ情報を含むため非公開</p>								
13:35									
13:40									
13:45									
13:50									
13:55									
14:00									
14:05									
14:10									
14:15									
14:20									
14:25									
14:30									
14:35									

【検証ポイント①】  
全社対策本部事務局は、各事業部のOOP等を活用して、情報の優先度に応じてERCプラットフォームと情報共有できているか。

【検証ポイント②】  
10条指定期間等対応者は、10条指定期間および15条指定期間において、EAL判断根拠、発生事象、進展予測、事故収束対応の説明を簡潔に説明できているか。

## 前回訓練の訓練課題を踏まえた訓練実施計画等の策定

### 【全社対策本部】

2021 年度 原子力防災訓練において抽出した「E R Cプラント班への説明方法の改善」に対する改善活動状況は以下のとおりである。【第 1 部訓練および第 2 部訓練 共通事項】

NO.	改善活動内容			検証計画
	今回の総合訓練において抽出した主な改善点	原因	対策/対応状況	
1	<p><b>【問題】</b></p> <p>① 通報文の内容を説明する際、説明漏れがあることや既に説明している内容と齟齬があることを把握したうえで説明することができていなかった。</p> <p>② 事業部対策本部から得た情報を速やかに伝えることに追われ、全体を整理したうえでのCOP、備付け資料を活用した説明ができていなかった。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>① 説明した内容をE R C対応ブースにおいて整理すること。</p> <p>② どのように説明するか全体を整理すること。</p>	<p>① これまでの説明事項の把握は統括者およびE R C対応者に一任されていた。</p> <p>② 事業部対策本部から収集する情報をもとに、どのようなツールを用いてどのように説明するか全体整理が不十分だった。</p>	<p>① 説明した内容を整理するためのE R C対応ブースにおける体制、手順を定める。</p> <p>② 想定される事象毎に発話すべき内容の一覧や発話例等を説明ガイドに定める。</p>	<p>○</p> <p>・今年度の訓練にて実動することにより評価可能。</p> <p>・改善策の有効性を確認するための確認事項（チェックリスト）にて評価する。</p>